



## 第 35 回 アークな生き方



受験生の皆さん、こんにちは。受験勉強お疲れ様です。私も約 10 年前は受験生の皆さん同様、論文試験に向けてひたすら答練や問題集を繰り返して覚えたことを忘れないようにしていました。今回は、私のアーク有限責任監査法人で経験した約 10 年間のテーマに配信しようと思います。

試験合格後アーク監査法人に就職しました。その当時のメンバーは約 30 名と小規模な組織であり同期も私以外に 1 名でした。今とは異なり、監査調書を紙面で残していたため、チームによっては調書ファイルが何十冊にもなりました。新人のため、クライアント往査のための準備ではそれらのファイルや文房具等の準備も行っており、往査のための準備も一つの大きな仕事でした（今も往査の準備はありますが、アシ

スタントの方にも手伝っていただけるのでその点でも専門的な領域に重点的に時間をかけられるようになっていきます。

その後、複数の合併や新しいメンバーも加わり、現在では約200名の組織となりました（地方オフィスも開設され、全国各地にアーク監査法人の拠点があります）。毎年10名程度の新人を採用しており同期も多くて羨ましく感じることもあります。

また、電子調書化が進んでおり、クライアントへの往査も身軽になり、過去の情報もスムーズに閲覧できるようになりました。作業場所も選ばず、作業の進捗管理や情報の共有化等の面で効率的になりました。

研修制度も充実してきて（私の入社時はほとんどなかった）、新人研修も社内でしっかり行えるようになりました。会計士になってからも会計基準や税法、監査基準の改正等に

についても理解できるよう、要点を端的にまとめた社内研修が継続的にあり、非常に役立っています（試験に受かってからも継続的に勉強し続けることの重要性は、お恥ずかしながら受験生時代にはあまりピンと来てなかったです。）

主な業務ですが、上場会社の監査をメインに行っていました。規模の大きなクライアントや小さなクライアント、地方に本社があるクライアントの監査もしてきました（九州のクライアントがメインの時は年間100日近く出張がありました。今はそのようなことはアーク監査法人全体でもありませんが…）。どの会社も業界特有のルールや会社独自のカルチャーがあり、慣れるのに大変な時もありますが、継続的に仕事をしていくとクライアントの方とも仲良くなれ（もちろん適度な距離感は大事ですが）、事前に会計上や監査上論点になりそうなことを教えていただけるようになりました。監査手続

中に問題点を発見しても手遅れになる可能性もあるため、事前に論点を把握し対応を協議することは非常に重要です。

また、2年ほど浜松・静岡オフィスへ転勤したこともありますが、上場会社の監査という面では東京にいたときと何ら変わりなくアーク監査法人のツールに従って監査をする点では同様です。クライアントの規模も一部を除けば東京と地方オフィスでそこまで大きな差がないです。私は東京でも浜松・静岡でも製造業の監査を主に関与していたため、その点でも地域による違和感がなかったのかなと思います。違いについて記載ができたらと思いましたが、……すみません。特にはないです。もし、アーク監査法人に関心のある受験生がいらっしゃったら、東京のみならず、各地域のアーク監査法人の拠点のイベント等ご参加ください。

ちなみに、アーク監査法人では希望勤務地で働けることになっていきますので、本人の希望がない限り、転勤はありません。

ん。

私が入社して 10 年で大きく仕事の環境が変わりました。次の 10 年後には今では考えられなかったような変化もあるかもしれません。成長中の組織のため今までできなかったこともできる可能性もアーク監査法人には秘めております（ワークライフバランスを重視する風潮は変わらないのでご安心ください）。

受験生にとって試験合格後の就職先をどうするか一大イベントです（今は試験に合格することが第一のためそれどころではないかとは思いますが）。アーク監査法人には私のみならず 10 年以上アーク監査法人に勤めているメンバーも多くおり、中長期的なキャリアプランについても相談がしやすいかと思えます。

キャリアプラン等の相談も含めアーク監査法人に興味をお

持ちいただけましたら、アーク監査法人開催のイベントにご  
参加いただけると嬉しく思います。

